

岡山大学 グローバル・ディスカバリー・プログラム  
WEB入試説明会 質問事項回答

2020/8/3

区分 (大)	区分 (小)	質問	回答
■ 入試についての質問	A:文系・理系の区分について	理系生徒で、理系入試を希望しています。将来的に経済を学びたいと思っており、プレゼンテーションは、理系の内容ではなく、経済をテーマに行いたいのですが、可能でしょうか？ また、理系生徒であっても、文系入試を受験することはできますか？	文系入試・理系入試の区分は、受験上の区分であり、高等学校等における文系、理系の区分とは異なるため、出願者は自分の得意分野で受験することができます。ただし、理系のプレゼンテーションは理系の内容に関するテーマになりますので、文系入試を受験した方が良いかもしれません。
■ 入試についての質問	A:文系・理系の区分について	理系科目を学ぶ高校に通っていても、文系入試を受験できますか？	文系入試・理系入試の区分は、受験上の区分であり、高等学校等における文系、理系の区分とは異なるため、出願者は自分の得意分野で受験することができます。
■ 入試についての質問	B:入試の方法・内容について	文系の個人面接（口述試験を含む）の使用言語は、日本語でしょうか、英語でしょうか？ また、記述問題（理系）の出題範囲は、基礎科目だけでなく、専門科目も含まれますか？	文系の個人面接（口述試験を含む）の言語は、日本語で面接を希望する場合は一部英語での質疑応答も含み、英語で面接を希望する場合は一部日本語での質疑応答も含みます。 また、記述問題（理系）の出題範囲は公表しておりませんが、基礎的な内容を中心に、知識と論理的な思考に基づき、問題の意図を的確に理解することができるか、問題に対して知識を活用して的確な答えを推論することができるかといった点が総合的に評価されます。
■ 入試についての質問	B:入試の方法・内容について	現在、日本国外に住んでいますが、新型コロナウイルスの影響により、日本に入国できない可能性があります。ディスカバリー入試においては、従来通りの対面による実施だけでなく、オンラインによる実施を検討されているでしょうか？	ディスカバリー入試においては、ICTを活用したオンラインによる入試の実施予定は有りません。なお、国際入試においては、日本国外在住者を対象にオンラインによる入試（Skype面接）を実施していますので、日本国外にいても受験することができます。4月入学者向けの国際入試も実施しますので、詳しくは本プログラムの英語版ホームページに掲載の国際入試学生募集要項をご覧ください。
■ 入試についての質問	B:入試の方法・内容について	プレゼンテーションに使用するポスターのサイズや枚数、発表時間などについて、教えてください。	ポスターについては、A 1判片面 1枚（A 3判片面 4枚を繋ぎ合わせても可）のポスターを持参・使用して、7分以内で行います（メモの持ち込みも可能）。なお、ポスターは、手書きでも可能ですが、持参した発表用ポスター以外はプレゼンテーションに使用できません（例：タブレット端末、模型等は不可）。ポスターは、回収しますので、持ち帰ることはできません。また、理系志願者は、発表用ポスターのデータ及び発表タイトルを事前提出してください。詳細は総合型選抜学生募集要項でご確認ください。
■ 入試についての質問	B:入試の方法・内容について	自己推薦書に関して、文字制限がある場合の文字数の許容範囲を教えてください。	例えば、1500字程度の文字制限がある場合でも、何文字までが許容範囲ということはありませんが、1500字程度にまとめられるように作成してください。
■ 入試についての質問	B:入試の方法・内容について	記述問題（理系）の数学分野の出題範囲に数学IIIは含まれますか？	出題範囲は公表しておりませんが、基礎的な内容を中心に、理系科目に関する能力を測る記述式の試験を行います。
■ 入試についての質問	B:入試の方法・内容について	プレゼンテーションの内容及び方式を詳しく教えてください。	プレゼンテーションは、A 1判片面 1枚のポスターを持参・使用して、7分以内で行います。プレゼンテーションに続いて、調査書や自己推薦書、プレゼンテーションの内容等を含む総合的な面接（口述試験を含みます。）を行います。時間は、プレゼンテーションと合わせて30分程度です。プレゼンテーションのテーマや使用言語等については、文系と理系で異なっていますので、詳細は総合型選抜学生募集要項でご確認ください。
■ 入試についての質問	B:入試の方法・内容について	新型コロナウイルス感染症流行に伴う出題範囲への影響はありますか？	本プログラムで実施する入試は、単に学力を問うような出題範囲を定めて行う試験ではありませんので、出題範囲への影響はないと考えています。
■ 入試についての質問	C:出願書類について	ボランティア活動証など証明書がない活動についても、活動記録と見なされますか？	自己推薦書の活動記録に記入していただければ結構です。なお、自己推薦書の内容等については、個人面接（口述試験を含む）において質問することがあります。
■ 入試についての質問	C:出願書類について	やむを得ない理由により英語資格・検定試験の成績を提出することができない場合の取扱いを教えてください。	やむを得ない理由により英語資格・検定試験の成績を提出することができない場合は、2020年8月31日（月）までに、その理由を記した理由書の提出を求め、岡山大学において正当な理由であると判断した場合には、出願を認めることがあります。提出方法については、事前に学務部入試課（電話番号：086-251-7192～7194, 7295）までお問い合わせください。

岡山大学 グローバル・ディスカバリー・プログラム  
WEB入試説明会 質問事項回答

2020/8/3

区分 (大)	区分 (小)	質問	回答
■ 入試についての質問	E:その他	障がい等がある場合などで受験上の配慮が必要な場合の事前申請について、教えてください。	受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、岡山大学ホームページ掲載の「出願に伴う事前相談書」に医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添付して入試課宛に相談してください。内容によっては、回答に時間を要する場合がありますので、迅速な相談結果の通知、特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間等を考慮し、少しでも早く相談してください。
■ 教育内容についての質問	D:教育内容について	岡山大学にはどのような留学制度がありますか？ また留学に際してどのような支援を受けられますか？	岡山大学が実施する留学制度としては、岡山大学グローバル人材育成院・国際部が実施している、①短期留学プログラム(EPOK)による派遣や②海外語学研修があります。①短期留学プログラム(EPOK)は、全学部の学生を対象に募集・実施する、協定に基づき派遣先の授業料不徴収となる交換留学制度で、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアなど40以上の大学への留学が可能です。②海外語学研修は、豊かな国際的視野を持つための基礎的な学力及び知識を修得させることを目的として、夏休み・春休み期間中に実施される2週間～1ヶ月間の語学研修プログラムです。グローバル人材育成院・国際部が実施している留学については、以下のホームページ（日本語）を参照してください。 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/ouic/japanese/students/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/ouic/japanese/students/index.html</a>  経済的支援としては、岡山大学独自の奨学金制度を利用することができます。例えば現在は、「岡山大学国際交流基金」があり、派遣地域がアジア地域の者には3万円、アジア地域以外の者には5万円を奨学一時金として支給しています。ただし、将来は変更される可能性もあります。このほか、日本学生支援機構の奨学金に応募することができます。海外留学奨学金については、以下のホームページ（日本語）を参照してください。 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/ouic/japanese/students/haken/students_hakenscholarship_jpn.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/ouic/japanese/students/haken/students_hakenscholarship_jpn.html</a>
■ 教育内容についての質問	D:教育内容について	コロナウイルスの影響による教育プログラムへの影響はありますか。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、他の多くの大学と同様に、岡山大学でも、学生の大学への入構が一時的に禁止となる、授業がオンラインとなるなどの影響がありました。本プログラムで提供する科目についても、一部の科目を除きオンラインで提供されています。今後の状況については不透明ですが、在学生のみならず、岡山大学ホームページやメール等で随時状況をお知らせしております。
■ その他の質問	D:教育内容について	グローバル・ディスカバリー・プログラムで、国家公務員を目指すことはできますか？	本プログラムにおいては、国家公務員を目指すことを主目的とした授業を開講していませんが、プログラムでの文理融合の学びやグローバルな学びを生かすことはできると思います。なお、国家公務員を目指す場合は、キャリア・学生支援室に相談したり、公務員ガイダンスなどを活用したりすることをお勧めします。
■ その他の質問	D:教育内容について	中、高校の教員免許を取得できますか。	教員免許は文部科学省から認定を受けた学部や学科などに所属する学生に対して交付されるのが原則です。本プログラムは認定を受けていませんので、プログラムで提供される授業を受けても教員免許は取得できません。しかし、「学部・学科横断型マッチング・トラック」で認定を受けている学部・学科に進み、提供されている授業を受けて、必要な単位を修得し、教育実習等を行えば、教員免許を取得することはできます。ただし、この場合も、中学校または高等学校での教員免許に限られます。また、教員免許の取得に関する科目の一部は本プログラムの卒業に必要な単位にはカウントされませんので、免許の種類によって異なりますが20～30単位以上余計に単位を取る必要があります。授業時間が他の専門科目と重なることもあり、4年間ですべての単位を取り終えることはかなりの努力を要するとお考えください。また、教員免許は大学院に進学してからでも取得することができます。本プログラムには大学院がありませんが、認定を受けている学部の大学院に進学し、足りない単位を補うことで取得が可能になります。
■ その他の質問	E:その他	在学生（留学生）の主な出身国・地域を教えてください。	インドネシアや中国、韓国などアジアからの学生が多いですが、アメリカやカナダ、ヨーロッパ、アフリカからの学生もいて、多様性に富んでいます。